

クラッドパネルライニング工法

遊休中のタンクを耐食金属でリフォームしませんか？

01 大型塔槽への対応

国内では道路交通法により、陸送可能範囲＝トラック積荷高さが規制されている都合上、SPF工場内で完成品と出来る塔槽の最大径には「3.4mまで」という制約がございます。それを超える大型品は、分割製作したパネルを内作し(上写真①)現地へ搬入、対象となる塔槽の内面にライニング施工いたします。

(同②～⑥)選定頂ける耐食材は、チタン・ジルコニウム・ニオブ・タンタル等です。既設タンク材質は、鋼材・ステンレス材であれば施工が可能です。

02 既設設備のリユース

下ワークフローは、国内での施工例です。遊休中であつた直径5.5m×高さ4.7mのCS+鉛ライニング製タンクについて「鉛を剥離し、新規でジルコニウムをライニングして耐酸用途で使いたい」というニーズが生まれました。旧設備解体～新規製作という選択肢の代わりに、当「クラッドパネルライニング工法」にてジルコニウムの内張りを実施。

- ・プロセスが要求する耐食仕様
- ・コストダウン
- ・廃棄物量の低減

全てを満たす、合理的なソリューションです。

03 応用例

加工上の自由度がきわめて高いため、さまざまな形状・大きさ・用途に適用できます。右記に代表的な応用例を記します。

■ 廃硫酸処理用ピット



サイズ:4,400mm×3,000mm×16,400mm
SS400 (t9～t14) + 内面 Zr (t1.0)

■ 排煙脱硫装置

石炭火力発電所向けの排煙脱硫装置の最終プロセスである、煙突内面のライニングとして多数のチタンパネル採用例がございます。



チタンに帯状の鋼材(赤褐色の塗装部分)をサンゼットR接合。各国の石炭火力発電所への輸出実績がございます。

SPF Co., Ltd.



■ワークフロー